

保護者の皆様

大田区立仲六郷小学校
校長 山本 秀一

令和元年度 大田区立仲六郷小学校保護者会 全体会資料「令和元年度 学校についてのアンケートのまとめ」

いよいよ令和元年度も最終月を迎えました。保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。今年度最後の保護者会の機会に、学校評価として本校における今年度の教育活動等の振り返り・反省とともに、今後に向けた考え方等についてお知らせいたします。今年度の教育活動の成果等を検証する上で、11月下旬から12月上旬にかけて全児童・全保護者を対象として実施した「学校についてのアンケート」の回答集計をもっとも重要な根拠資料としました。右に児童の回答状況、裏面左側に保護者の皆様からの回答集計結果を示しています。それぞれ上が今年度（令和元年度）、下が昨年度（平成30年度）の結果です。すでにお知らせしたとおり、大田区教育委員会において今年度新たに「おおた教育ビジョン」が策定されたことなどをを受けて質問項目の見直し・精選を図ったため、必ずしも昨年度との比較はできませんが、同じまたは似た内容の項目同士で見比べていただけるとよいと思います。

【 児童を対象としたアンケート 】

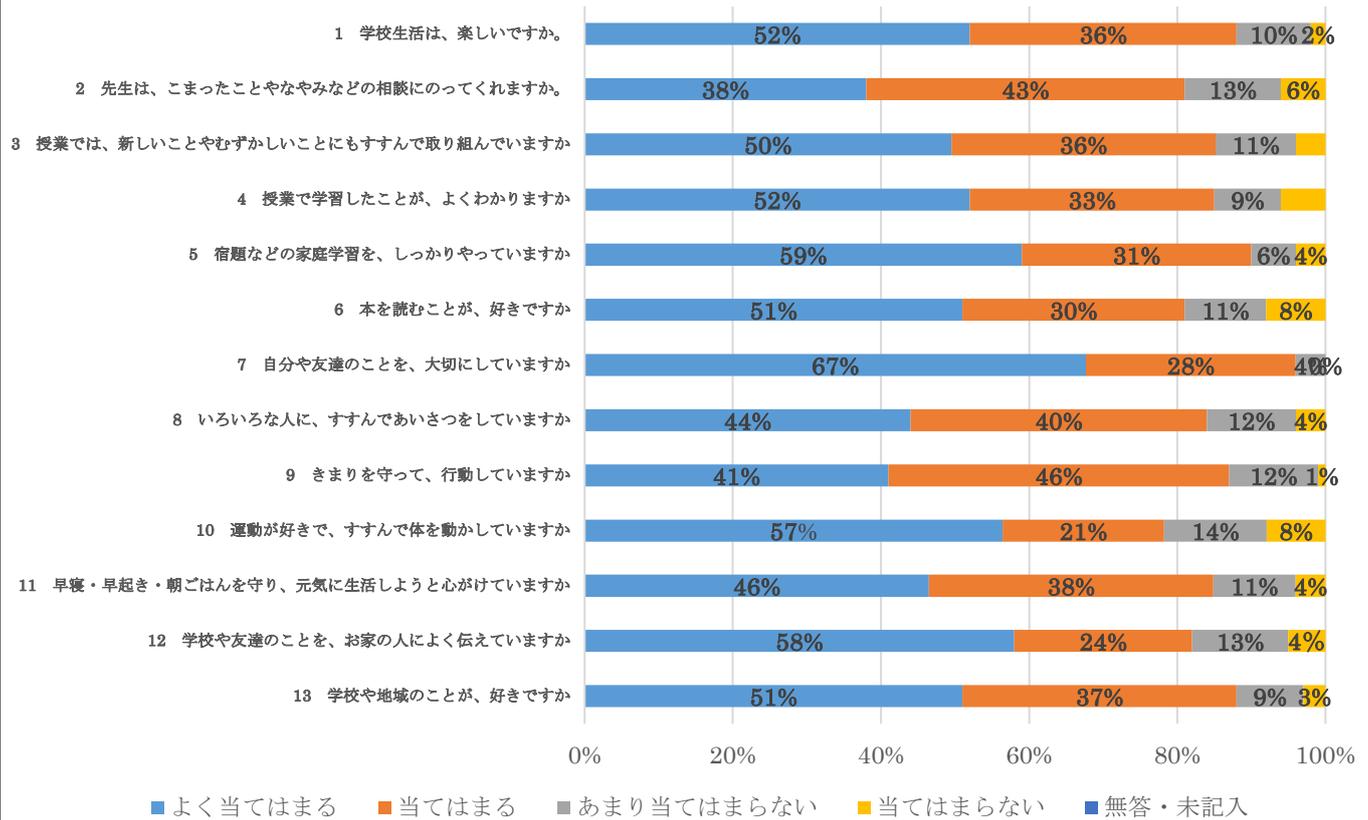
13項目のうち12項目で、肯定的な回答（よく当てはまる・当てはまる）が8割を越えました。8割に届かなかったのは「10 運動が好きで、すすんで体を動かしていますか」の項目で、78%でした。この項目で特徴的なのは、「よく当てはまる」と回答した児童だけで6割近くを占めているにもかかわらず、否定的回答（あまり当てはまらない・当てはまらない）も2割超を占めるという点です。一般的にも問題とされている「運動に対する意識の二極化」が本校の児童にも見られるといえます。仲六郷小学校では、体育の授業や体育的行事、仲六道場や持久走週間等の体育的活動の充実を図るとともに、休み時間の外遊びを奨励したりオリンピック・パラリンピック教育との関連を図ったりしながら児童のスポーツ志向の向上を目指した取組を行ってきました。今後、一層の充実を図るとともに、一人一人の運動技能の向上を目指した体育授業の改善を進め、運動することの楽しさを味わわせていきたいと思っています。

昨年度と同じまたは似た内容の項目（今年度の1, 2, 4, 7, 8, 9, 13）で比較すると、右表のように、昨年度と同程度か上回る結果となりました。児童全体ではおおむね良好な結果ということができると

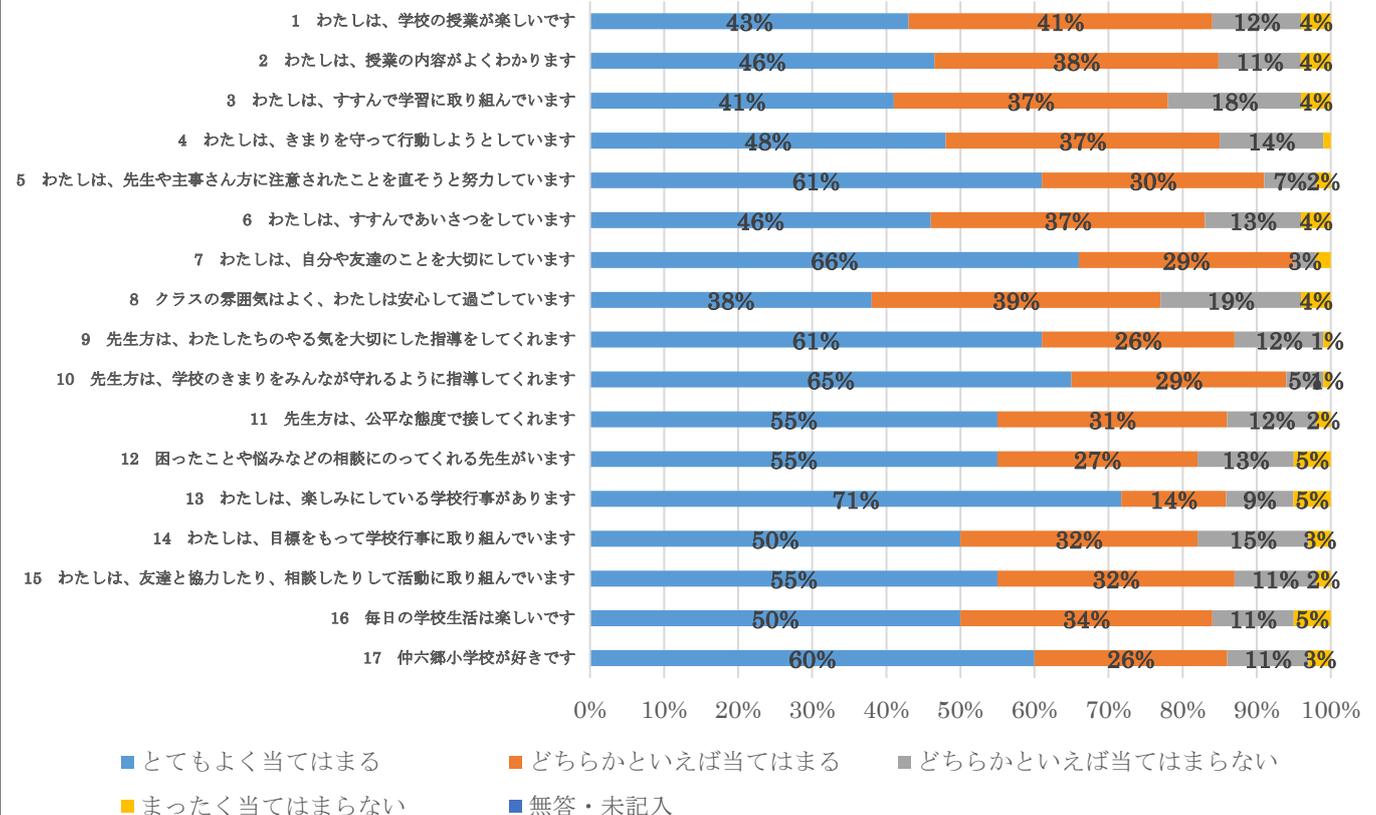
	今年度（項目と肯定的回答の割合）	昨年度（番号と割合）	ポイント差
1	学校生活は楽しい 88%	16 84%	+4
2	相談にのってくれる 81%	12 82%	-1
4	学習したことがよくわかる 85%	2 84%	+1
7	自分や友達を大切にしている 95%	7 95%	±0
8	すすんであいさつをしている 84%	6 83%	+1
9	きまりを守って行動している 87%	4 85%	+2
13	学校（地域）が好き 88%	17 86%	+2

思います。特に「自分や友達のことを大切にしている」という児童が大変多いのはうれしいことです。誰にとっても「大好きな学校」であることを目指して教育活動を進めてきました。「学校生活は楽しい」88%という大変高い割合ではありますが、なかなか十分な満足感を得ることができない児童に対して、個に応じた指導・支援をさらに充実させていく必要があると考えています。

令和元年度 学校についてのアンケート（児童）



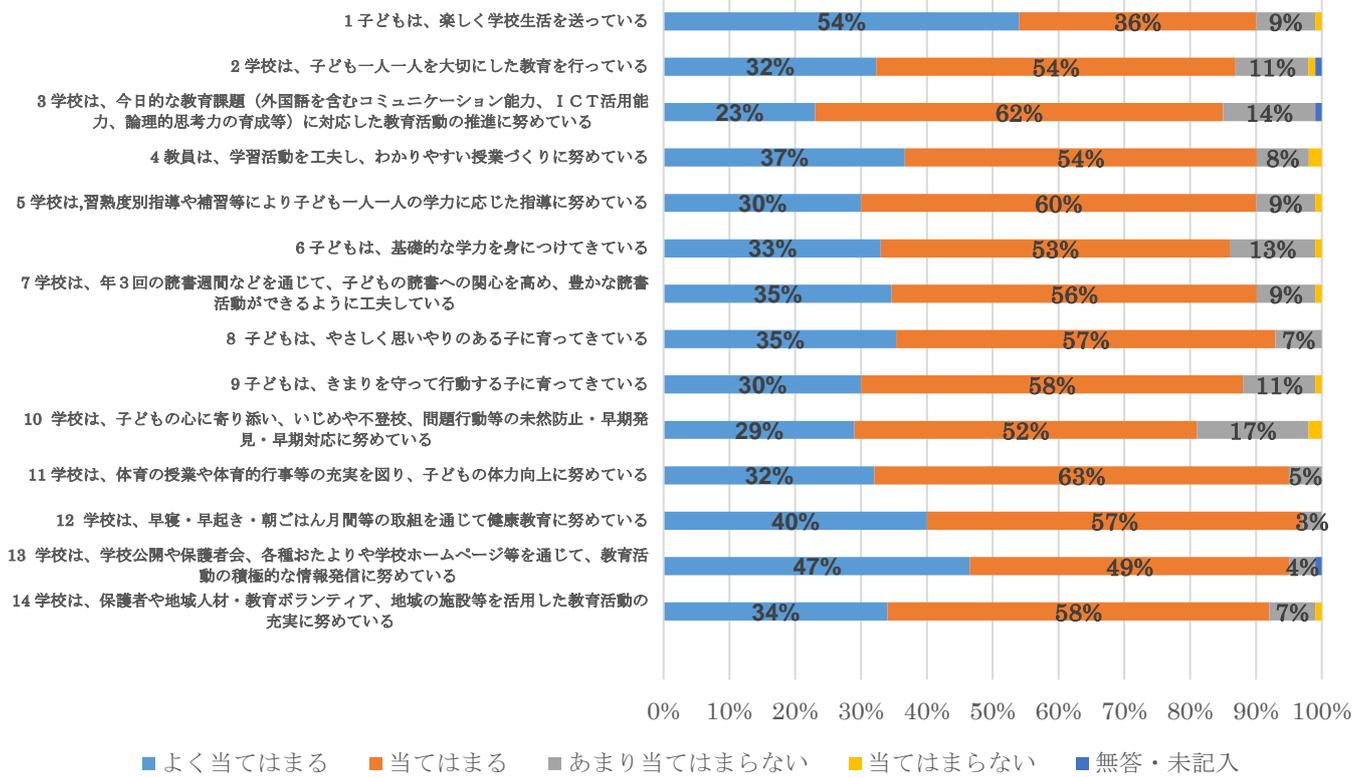
平成30年度 学校についてのアンケート（児童）



※1%未満は四捨五入

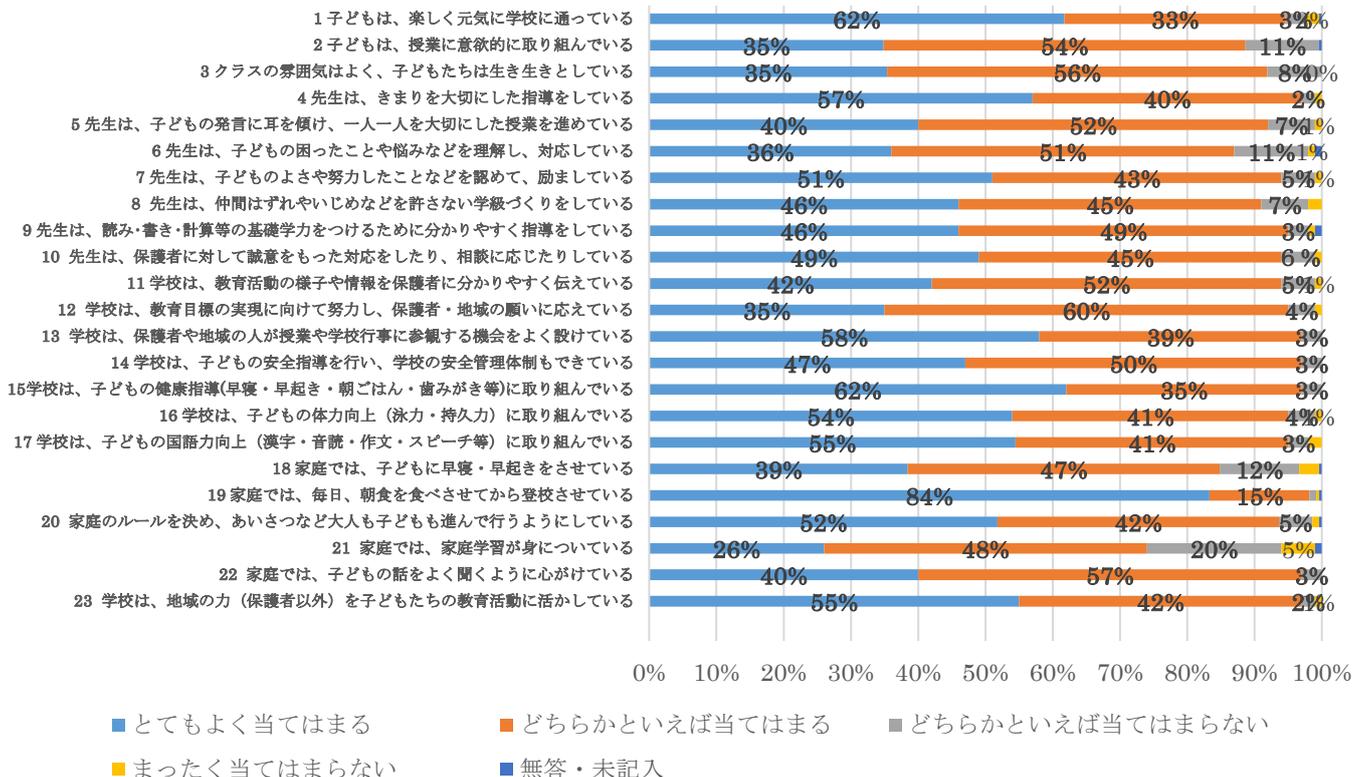
令和元年度 学校についてのアンケート（保護者）回収率約92%

児童数256名 回答数235名



平成30年度 学校についてのアンケート（保護者）回収率約85%

児童数267名 回答数226名



※1%未満は四捨五入

【 保護者を対象としたアンケート 】

回答へのご協力、ありがとうございました。回収率が昨年度から約7ポイント上昇し、92%となりました。本校としては、保護者の皆様の率直な声をできるかぎり広くうかがいたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

今年度、質問項目数を23から14へと9項目減らし、内容も学校の取組や児童の様子・変容にかかわるものにしぼりました。

14項目全てで肯定的回答が8割を超え、うち9項目では9割以上と、全体として大変高い評価をいただきました。しかしながら、昨年度の評価がそれ以上に高かったこともあり、昨年度と同じまたは関連した内容の項目(今年度の1, 2, 4, 10, 11, 12, 13, 14)で比較すると、右表のように、昨年度より下回るものが多い結果となりました。

今年度 (項目と肯定的回答の割合)		昨年度 (番号と割合)		ポイント差
1	楽しく学校生活を送っている 90%	1	95%	- 5
2	一人一人を大切にした教育 86%	5	92%	- 6
4	わかりやすい授業づくり 91%	9	95%	- 4
10	問題行動等への対応 81%	8	91%	- 10
11	子どもの体力向上 95%	16	95%	± 0
12	健康教育 97%	15	97%	± 0
13	積極的な情報発信 96%	11	94%	+ 2
		13	97%	- 1
14	地域人材等を活用した教育 92%	23	97%	- 5

ご覧のとおり、児童の回答状況と必ずしも一致するものばかりではありません。本校としては、児童の回答(生活実感)と保護者の回答(児童や教職員の姿を通じた実感や学校からの情報等に基づく認識)の両面から、取組の見直しや改善を図る必要があります。いじめや不登校、問題行動等に関しては、具体的な個別の事象を広くお伝えするケースはほとんどありませんが、未然防止に向けた取組などは、保護者の皆様にしっかりと伝わるように工夫していきます。

今年度、本校のホームページに「なかろくDIARY」を立ち上げ、学校や児童の学習・生活の様子等を、リアルタイムに近い形でお伝えするようになってきました。今後も保護者や地域の皆様に、様々な情報を積極的に発信していきたいと考えております。

何より「1 子どもは、楽しく学校生活を送っている」の項目に対して、肯定的回答が限りなく100%に近づくように、学校は一人一人に寄り添った指導を常に心がけ、努力してまいります。

【 自由記述欄より 】

記述によるご意見・ご感想も頂戴しました。詳細は割愛させていただきますが、集約の上で代表的なものを紹介させていただきます。なお、地域教育連絡協議会「ふるさと会」の皆様には、全てのコメントをご覧いただいたうえで、本校の学校関係者評価に参画していただいております。

- 仲六道場、タブレットPC等ICT機器を積極的に活用した授業、読書活動、金管バンドクラブ等の活動への評価 ⇒ 今後も児童の資質・能力の向上に向けて工夫して取り組む。
- 児童一人一人に十分に向き合っていない、指導の仕方がよくない、トラブルや悩みへの対応が不十分、などといった教職員の課題 ⇒ 改善努力を図る。気になったらご相談ください。
- 生活指導面の課題(学校の傘立ての乱雑さ、言葉遣いの悪さ、携帯電話やオンラインゲーム、それに関わる人間関係に関する問題等)について ⇒ 折をみて児童に具体的な指導を実施。
- 学校規模が小さくなっている問題。魅力ある学校にするための工夫がもっと必要、というご意見。 ⇒ できることはやっていきたい。教職員ではできないこともある。
- 学校ホームページが充実し、学校の様子がよく伝わるのでよい、というご意見。 ⇒ 継続